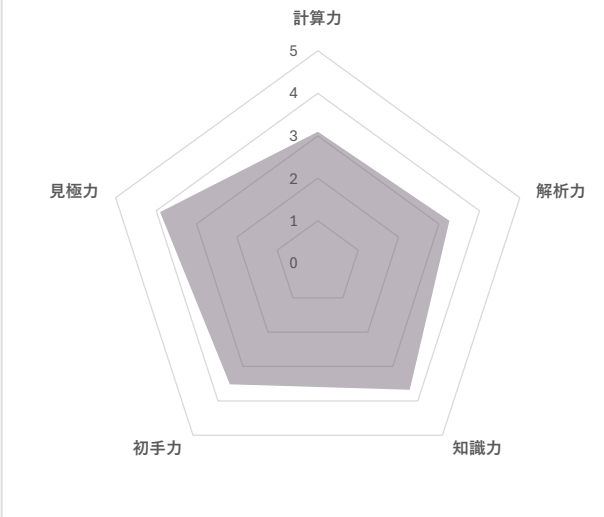


総合分析

試験区分 一般（前期）

制限時間 90分 大問数 全4問

合格に要する能力（5段階）



合格に要する能力（5段階）

計算力	2.9	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.1	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.5	解くことに必要な知識の量
初手力	3.3	初手の難しさ
見極力	3.7	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野

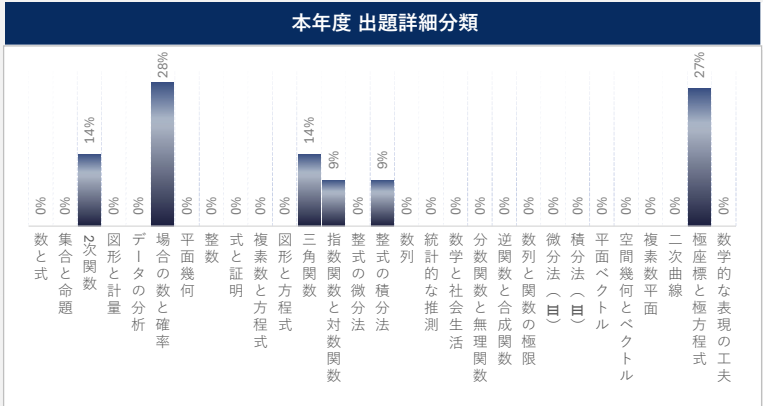
数学 I	14%
数学 A	28%
数学 II	32%
数学 B	0%
数学 III	0%
数学 C	27%

本年度 解答形式

答えのみ記...	論述 44%
----------	--------

本年度出題テーマ一覧

第1問	累乗根の定義と指数法則
第2問	同じものを含む順列
第3問	三角関数と直線の共有点の個数
第4問	極方程式



特殊問題の有無	記述あり	証明あり
統計なし	数IIIあり	長文なし

総合評価

難度	3.3	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	71%
分量	88分	完答に要する時間（制限時間は90分）	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

- ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておこう。
- ▶ 代数的な問題の比重が高い。日ごろから答えを出し切る訓練が必要である。

入試から見る 大学が求める学生像

累乗根の定義など、大多数の受験生が「気にせずに使っている事実」と思っているものを問うたことは非常に大きいと思われる。今後の学習の指針になる可能性もある。
ただ単に問題を解く力をつけるのではなく「数学」の勉強をしている学生を求めていると考えられる。